



# The Y's MEN's CLUB of もいおか

## <VOL195.2024.3>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パルク中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

今月の聖句 マタイによる福音書1章23節



「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

### 「主題」

「より良いコミュニケーション」  
「変革のための光となろう」  
「変化をたのしもう！」  
「クラブのミッションを育てよう」  
「いまだ、駆け上がろう」  
副題 「コロナ時代からの脱却」

国際会長	ウルリック・ラウリドセン
アジア太平洋地域会長	利根川 恵子
東日本区理事	山田 公平(宇都宮)
北東部長	大久保知宏(宇都宮)
もりおか クラブ会長	三田 庸平

会長	三田 庸平
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	東森 聡(たもり)
メネット	井上 優子

### 令和2024年4月定例会

日時、場所 4月13日(土) アイーナ6階団体活動室2  
18時~20時 (第三土曜日)

会費 1,000円

卓話 日中韓YMCA平和フォーラム報告  
岩手大学4年生の林隼昕さん(フリー)

### 会長巻頭挨拶



三田会長

3月になり春らしくなってきました。雪が少なく寒い冬は終わりました。皆さんの体調はいかがでしょう？もりおかワイズメンクラブは16日に例会を開催致しました。いつもと違い3週目に開催でしたが、多くのワイズメン・ウィメン・ユースリーダーに参加してもらいました。賑やかな例会になりました。

3月2日には、盛岡 YMCA ユースリーダーの送別会にも招待いただき、総勢10名のワイズメンバーも出席致しました。多くの卒業するリーダー達にはワイズ例会にも何回も参加してくれたメンバーが多くいました。たくさん参加して一緒に盛り上げてくれた事の感謝を伝えました。本当にありがとう。4月からたくさん悩んで成長して、卓話とかで戻って来てもらいたいものです。

3月の例会は、もりおかワイズメンバーの山口さんに卓話をお願いし NPO 法人開設のお話をさせていただきました。深く内容の濃いお話を頂き、学び多い時間になりました。今後も、色々な方のお話を聞き、学び多い時間を作っていけたらと思っています。

ます。また、もりおかクラブはアジア太平洋地域大会に派遣したように、今年も派遣できるようにファンド等を頑張り、資金を集められるように工夫していきたいと思っております。もりおかワイズメンクラブはユースとの関わりを大事に、元気あるクラブにしていきたいと思っております。今後とももりおかワイズメンズクラブをよろしくお願いいたします。

### 3月定例会のご報告

2024年3月16日(土)、アイーナにて開催。参加者、三田、大関、長岡、濱塚、井上、井上優子、魚住、水田、加藤、千葉、山口、シンティア、東森(敬称略)以上13名。

ゲスト、リーダー、山口満穂さん(しらたま)、加藤萌生さん(ペペ)、渡邊夏生さん(チューバ)、滝澤里菜さん(グラ)、十文字堅斗さん(おび)、以上18名で盛大に開催しました。

今月の卓話は、山口貴伸メン。「居住者支援法人について」と題して卓話をいただきました。この後特集しています。

今回の例会で史上初めて、開会点鐘をゲストのペペが行いました。先月の例会終了時に、「来月の開会点鐘を打たせて下さい」と申し出があり、三田会長が快く承諾しておりました。さあ、ペ

皆さん思いっきり打ってください。ベルの上部を叩いたため響きが悪かったので、スカート部分を打ってくださいと2回目、見事に鳴り響いて開会しました。

ワイズソングの伴奏用のスピーカーの修理が終わり、会場全体に響き渡る音量で全員ワイズソングを気持ち良く歌いました。和やかに食事の後、山口メンの卓話、6月の東日本区大会の出席確認、全員の近況報告、シンティアウィメンからのチャリティコ

盛岡ワイズメンズクラブの皆様  
皆様が支えつくれた。あかびで  
刺激的で充実した日々を送るこ  
ができました。  
心より感謝申し上げます。  
ありがとうございました。  
心ばかりのお礼ですが、お喜ばしく  
2023年度卒業生一同



ンサートの案内、加藤メンからのオーガニック筆石活動報告会の案内、(シャベルが青年部の活動報告を行います。)があり、そして、今年卒業したリーダー達からプレゼントが届いていました。お菓子「岩手の月」、

メッセージ付きで送られてきました。嬉しかったです。ありがとうございます。おいしくいただきました。

今後の活動は、特にリーダー会を支援するという事に重点を置き、ファンドとリーダー自身で活動費を捻出するお手伝いを行う事に力を注ぎます。

閉会点鐘です。ペペ、再登場で見事な点鐘で終了しました。新鮮な感じでよかったですね。



3月定例会集合写真、なんか最近の集合写真いいですう

### 3月例会卓話 特定非営利活動法人

「くらしとすまい、プロディゴ」 居宅支援事業について

代表 山口貴伸さん

皆様、今晚は。山口です、昨年定年退職しまして、災害公営住宅の相談員を1年行ってきました。この4月から特定非営利活動法人プロディゴで活動を始めます。「プロディゴ」ですが、イタリア語で「無駄使い」、良い意味では「寛大、惜しみなく与える」という意味があります。自分自身助けを求める小さな人です、また惜しみなく与えたいという意味を込めてプロディゴという名前にしました。具体的には生活困窮者支援、居住支援事業。住まいとお金、生活全般の支援を行います。4月からの補助金を申請します。住宅セーフティネット制度があります。住宅確保に困っている方々に安い住宅を提供するものです。家族構成が高齢者のみ、片親家族、バブル時代の住居が空いてきているこのような状況に対応して、入居を斡旋します。65歳以上の家族がいる世帯が約半分、三世代家族は30年前までは50%、現在は数%になっています。

住宅確保要対象者は、所得が低い方、被災者、高齢者、障害者、子供を養育している親、外国人、困っている人はすべて対象者です。私たちは、県から指定を貰って国の予算を使って住宅の提供をします。精神科からの紹介で30代の発達障害の方で収入が少なく生活保護対象です。年齢的に施設からの退去で住宅を探さなければいけません。契約同行して住宅をかりました。1人では対処できないような方に支援を行います。

### 1分スピーチ、面白おかしく語り会おう

大関メン：先週のボーリング大会で優勝しました、ハイゲーム賞付きです。45名参加の大会で大いに満足しました。

濱塚メン：山口さんありがとうございました。プロディゴ、惜しみなく与える。感動いたしました。今日のお昼、小さいなり寿司を妻に私は大きい方、そんな私にプロディゴは突き刺さりました。

水田メン：田園ホールで民謡発表会がありました。4番目にうたいました。会場では大いにうけたと思っています。

住宅探しに困っている方は。複数の問題を抱えて、社会的な孤立をしています。相談できる人もいなく、頼れる身内もなく、連帯保証人、緊急連絡先もありません。したがって入居先をさがせません。管理会社は、物件不足、福祉や医療関係者との関係が悪く、入居者のトラブルで退去についてリスクを負います。大家さんは空き室に困り、建物の老朽化対策。医療、福祉関係者は転居先が決まらなると支援ができない、物件の探し方がわからない支援の手が足りず、入居後のアフターケアができない。これらの問題を解決するために支援者を繋ぐ取り組みが必要です。当事者の問題を早く解決して安心して生活を送れるようにする。暮らしの支援は、福祉。住まいの支援は住宅(空家不動産の活用、公営住宅)。生活、繋がりの支援はその地域(見守り、買い物支援、民生委員さんなど)、それぞれの得意分野を生かして最善の方法で対処することが必要です。また、シェルター事業(DV被害者、ホームレス等)、緊急一時避難も欠かせません。

人は、繋がりの中で生きています。そういう活動をしていきたいと思っております。

シンデイウィメンは、イワテサークルフレンズで外国人の支援を行っております。今晚お話を聞いて、いままで行ってきた支援活動、アパートの契約や生活支援に大変苦労していましたが、山口メンのお話は希望の光が見えたようです。力を合わせて、外国人への対処も絶対必要ですよろしく願いいたします。期待しています。

井上メン：私が井上です。(時間を気にするあまり、大関さんから突っ込みが激しく、何も言えないままに終了)また来月聞かせてください。

千葉メン：しばらくお休みしました。山口さんの卓話を聴いて関係者の接続部分に考えさせられました。自分ができることは惜しみなく協力します。

長岡メン：ワイズのLT委員を2年行ってきました。引退になりましたが。部長会長研修会で、ユースの繋がりの重要性が強調されました。さらに邁進します。

三田会長: 山口さんありがとうございました。医療関係者として思うところがありました。協力できればなと思います。

チューバ: 県立大学の生協で新入生に住居を斡旋しています。ニーズがいろいろで、山口さんの方がとても大変そうです。

グラ: 私の両親が洗面台を買い替えました。母は高いと言いましたが、父は20年以上使うから良いものを買おうと言いました。私には母への2回目のプロポーズだと思いました。

シンディウィメン: さっきのお話でたくさんの外国人を助けていたらいいなと思います。私のサークルは20年になります。5月26日チャリティコンサートを行います。参加してください。

井上優子メネット: グラさんのほっこりする両親のお話とは逆に、溺れそうでしたが、1カ月ぶりにワイズソングを歌ってすっきりしました。わたしにとってワイズの例会は大切なものです。再認識しました。

おび: 昨日、妹が高校に合格しました。倍率は低くかったので少子化が進んでいると感じました。

しらたま: 3月3日のサポートプログラムのイベントがありました。

歴史は長いのですが、コロナの影響で活動停止がながかったです。スキーやキャンプを行ってきましたが、水泳も行いたいと思っています。

魚住メン: 私の所属団体も行政と繋がりを作ろうとしています。山口さんと共通するものがあります。励みになりました。

山口メン: 今日のお話のために準備をしてきましたが、言葉にするのが大事だと感じました。情報発信と自身の行動がとても大切だと痛感しています。がんばります。

加藤メン: 卓話は身につつまされました。60歳を越え、母親は90代、救急搬送で入院しました。行けなとおもいましたが帰ってきました。そんな時を迎える準備が必要です。

ペペ: 開会点鐘嬉しかったです。弟といとも高校に合格しました。子供達からの罰ゲームをクリアしなければなりません。加藤さん後で一発ギャグを教えてくださいね。

タモリ: 前潟校を卒業した子供たちが7人、「中学、高校を卒業しました。」と遊びにきてくれました。サッカーで盛大付属高校へいく子、科学技術を学びたいと大学へ行く子、中学バレーの岩手県選抜キャプテンの子はバレーの名門校に行くそうです。無限の可能性を感じました。

### リーダーとスタッフの卒業式

3月2日、アイーナで今年学業の卒業に合わせて、ボランティアリーダーを卒業する方々の卒業式と送別会をとりおこないました。盛岡 YMCA からが聖書、もりおかワイズメンズクラブからは理事長と連名で感謝状をおくりました。在学生の企画運営で、1人ずつ感謝と激励の言葉を送り、応えるように卒業生が YMCA の思いを語りました。とても心を打つスピーチに笑いと涙が交錯して感動の卒業式でした。いつも思い出すが、現在主事をしている「しどう」、彼が卒業するとき大泣きに泣いて、目を真っ赤にしていた事です。今は、泣く子も黙る指「しどう」ですが、あのころからリーダー卒業式は彼らにとって特別なものなのでしょう。スポーツの世界もそうですが、本気で取り組んできたものからの卒業は泣けるものです。在学中に経験した出来事は、これからの人生に大いに役立ちます。この日に向かってギター同好会は「また会える日まで」という曲の練習を重ねてきました。最後に全員で演奏に合わせて、「また会える日まで、夢を忘れずに、変わらないままで、ずっといようよ。」手をつなぎ、体を動かして大合唱してお別れしました。がんばれ、みんながんばれ。いままでありがとう、元気でいてね。

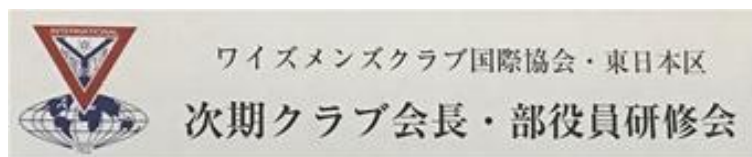


本日卒業するリーダー達。ご苦勞様でした。ありがとうございました。



リーダーたちとの一体感はいいのもですね。

### 次期クラブ会長・部長会研修会開催



3月9日、10日東山荘にて開催。私自身初めてもりおかクラブ会長に就任して以来15年ぶりくらいの出席になりました。LT委員をしていたこともあり、主催者側の立場もありました。開会と閉会の司会を務め、ほんの少し緊張もありました。東山荘に集まった参加者とオンライン参加のハイブリッドの研修会でした。次年

度は山田理事の2年目の体制になります。山田理事が提唱するYMCA とユースリーダーとの結びつきの強化がどのように達成できるか、実りある実績を残す正念場の1年になると思います。



さあ、行きましょう。YMCA とユースと共に

# 「ブリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

3月の出席率	12/15	80 %	ゲスト	5名	ビジター	0名	メネット	1名		
メーキャップ	0名				1月切手	0g	累計	180g		
3月のにこにこ	0円	累計	0円		焼きそば	0円	累計	0円		
3月 石鹸	0円	累計	0円		りんご	0円	累計	0円		
3月 献金	0円				ファンド合計		円			

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

3月のハッピーバースディ 3/13 大関メン 3/22 魚住メン、3/24 山口メン 3/28 及川メン  
お誕生日おめでとうございます。

## オーガニック雫石、PGS活動報告会開催



3月30日雫石公民館でオーガニック雫石の2023年度の活動報告会がありました。青年部の活動について農場長の「シャベル」が報告発表を行いました。有機農業で地域作りを行う、PGSの仕組みを地域コミュニティの観点からまとめることで卒業論文を書きました。

藤根奈実子さん(シャベル) 今回は私が活動に参加しながら感じた事や考えた事についてお話をいたします。農業のお話为中心になっていましたが、活動は農業だけではなく、地域の方々と一緒に食の豊かさを共有する活動がたくさんあります。ご紹介いたします。有機農業を取り上げる上で、有機農業を営むこと自体が、顔が見える消費者を必要としています。消費者は生産者を知っている、生産者と共に有機農業の豊かさを共有します。ここに着目しました。

有機農業とは農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する農業です。農家のうち、わずか数%の生産者です。生産物の流通で代表的なのが「有機JAS認証」です。これは、農家の愛情や畑のすばらしさなどは、よく解らないのが現状です。

参加型の有機認証システムは、生産者の努力だけではなく消費側の理解や介入も求められる、有機農業が社会運動の性格を持っているなどの点からより有効であると言われております。これがPGSです。信頼や社会的ネットワーク、知識の交換、の上に関係者の積極的な参加活動に基づいて生産者を認定するものです。

私の体験をお話します。6月の水田体験では、有機農業の水田に裸足で入って除草の体験です。圃場は他の水田と違い生物

がたくさん居るため泥がやわらかいとこの事です。生物多様性の宝庫でした。オタマジャクシ、アメンボ、大きなカエル、10名ほどのYMCAの仲間は嬌声を上げながら、それは田んぼを感じるという事なのでしょう。除草した草にはすべて名前がついている事を教わりました。この日の昼食には熊肉を使用した味噌汁、イノシシ肉の燻製、採れたての山菜、ふだん食べられない食材の料理をいただきました。これは貴重な体験でした。

9月のオーガニックフェスタでは多数の有機農業団体や飲食店が出店し、音楽ライブ、県内オーガニックエコ活動のシンポジウムも行われていました。オーガニック雫石からは生産したオクラ、ナス、インゲン、その他多くの野菜を販売しました。生産者からの説明を聴き、納得して買い物ができます。他の生産者との交流を通じてネットワークが構築されていました。

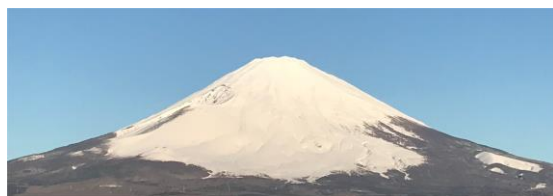
同じく9月には映画「希望の給食」の上映会を中央公民館でおこないました。雫石だけではなく盛岡などからたくさんの来場者を迎えました。子供たちに緑の大地を残したい気持ちを伝え、雫石をオーガニックの里にすることを目指して活動していることを紹介しました。オーガニックの給食が美味しいことを若者が帰ってくるきっかけになればいいと言っていました。雫石の現状や課題を伝える役目もオーガニック雫石が担っているとの事です。

秋のワンオーガニックデイでは色とりどりの野菜が持ち込まれ、珍しい野菜がたくさんありました。料理を習い、いっぱいお話をし、餅つきなども行われ収穫の喜びを満喫しました。同じ地域の人々と解り会えるとてもいい機会だったと感じました。参加することによって、地域内の人々が繋がる、自然環境、生物多様性、食文化、歴史の継承、本来の豊かさを確認できます。

10年の歴史がある、オーガニック雫石ですがまだまだ外部にアピールをしていかなければならないと感じております。

## 編集後記

今月は、リーダー達との交流のブリテンです。現在30日の午後4時です。午前中はシャベルの活動報告を聴きに雫石までいってきました。「この子は頭がいいな」と感じました。素晴らしい女性です。岩手の未来はきっと明るい。



3月9日次期部長会長研修会 東山荘からの富士山です。綺麗です。